

## 農業振興に向け全力 収量増やす技術などを調査

党愛知  
県議団



「あいち型植物工場」について担当者から説明を受ける党愛知県議団

公明党愛知県議団(渡会 克明団長)は先ごろ、農業者が抱えている課題の解決に向け、農作物の新品種や技術の研究・開発を企業や大学と連携して行う県農業総合試験場(同県長久手市)を訪れ、研究の成果や今後の取り組みを調査した。

同試験場が開発した栽培システム「あいち型植物工場」は、情報通信技術などを駆使して、光、温度、二酸化炭素などの環境を制御し、トマトの収量を飛躍的に向上させる技術を実現。

この成果を「あいち型植物工場マニュアル」にまとめ、農業者に情報提供している。

県議団は担当者から同施設の研究成果などについて説明を受けた後、同システムを検証している実証ハウスなどを見て回った。

同施設の担当者は、外国人技能実習制度の拡充などで農業就業者を確保し人手不足を解消する必要があると述べ、渡会団長は「県内の農業振興に向け、応援していく」と語った。